

Combi



コンビ ニンナンナ PA-138V

Baby Soft Carrier

ヨコ・タテだっこ & おんぶ兼用 はじめてホールド

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
本品を他の方にお譲りになる際には、必ず本書もあわせてお渡しください。

ヘッドサポート  は、

お子さまの首がすわってから使用するものです。
ポケットから取り出したあとは、使用時期までなくさない
ように保管してください。

梱包時は、ポケットに収納されています。



もくじ

お使いいただく前に

ご使用前に	1
安全にお使いいただくために	1
各部のなまえ	5

ヨコだっこするには

(0カ月～首がすわるまで)

ヨコだっこの準備	6
首のすわっていないお子さまを乗せる	7
首のすわっていないお子さまをヨコだっこする	9
ヨコだっこのはずしかた	10
ヨコだっこサポートシートのはずしかた	11

タテだっこするには

(首がすわってから～12ヵ月ころまで)

タテだっこの準備	12
子守帯にお子さまを乗せてからだっこする	13
子守帯を取り付けてからお子さまを乗せる	15
タテだっこのはずしかた	16

おんぶするには

(首がすわってから～30ヵ月ころまで)

おんぶの準備	17
おんぶする	18
おんぶのはずしかた	20

お手入れ

お手入れ	21
------------	----

ご使用の前に

このたびはコンビ ニンナンナ PA-138Vをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」して、外気浴、日光浴、買い物するときなどに使用するための1人用子守帯です。

ご使用の前に、5ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

お子さまを「ヨコだっこ」「タテだっこ」「おんぶ」できます。

使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

ヨコだっこ

0ヵ月 首がすわるまで

体重：7.0kgまで

参考月齢：生後すぐから～4ヵ月ころまで(首がすわるまで)

タテだっこ

首がすわってから 12ヵ月(11.3kg)まで

体重：11.3kgまで

参考月齢：首がすわってから～12ヵ月ころまで

おんぶ

首がすわってから 30ヵ月(14.9kg)まで

体重：14.9kgまで

参考月齢：首がすわってから～30ヵ月ころまで

使用者の適用ウエストサイズは、55～110cmまでです。

冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。

安全にお使いいただくために

安全上の注意

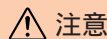
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

枠(2～4ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

警告

ご使用の際は、以下の接続部を必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

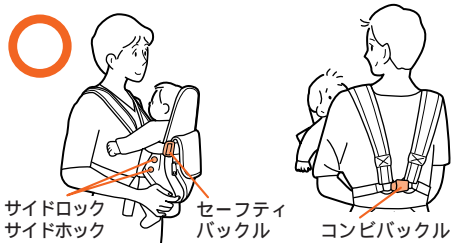
<ヨコだっこ時>

- ・ヘッドガードフック(左右2カ所)
 - ・サイドロック、サイドホック
 - ・セーフティバックル
- ヨコだっこサポートシートを取り付けて使用すること



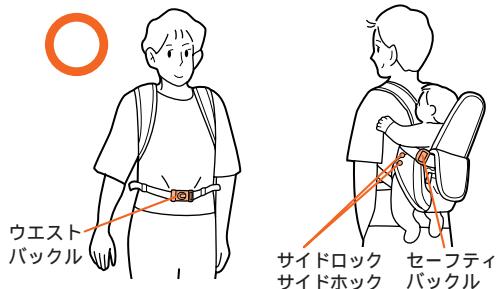
<タテだっこ時>

- ・サイドロック、サイドホック
- ・セーフティバックル
- ・コンビバックル



<おんぶ時>

- ・ウエストバックル
- ・サイドロック、サイドホック
- ・セーフティバックル



ご使用の際は、以下のベルトの長さをきつめに設定してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎるとお子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

- ・セーフティベルト
- ・ウエストベルト

<ヨコだっこ時>



<タテだっこ時>



<おんぶ時>



⚠ 警告

お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。

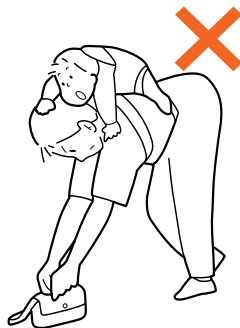
(他の人に介添えしていただくと、より安全です)

不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



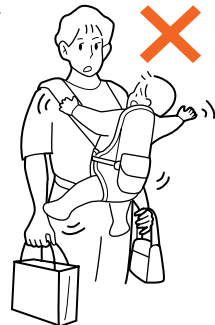
使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。

お子さまが落下するおそれがあります。



だっこするときは、必ず手で支えてください。

お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



次のようなお子さまには、ヨコだっこで使用しないでください。

体重7.0kg以上のお子さま
取り付け時に「ヘッドガード」から頭部が出るお子さま
覆返りができるお子さま

お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



ヨコだっこするときは、お子さまの頭部を足よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。

不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



首がすわっていないお子さまは、絶対にタテだっこしないでください。

お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



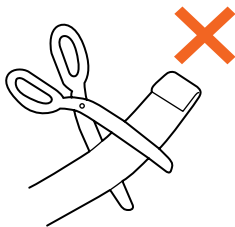
⚠ 警告

タテだっこするときは、必ず「ヨコだっこサポートシート」をはずしてください。

お子さまの頭部を圧迫するおそれがあります。



ベルトの先端の返し縫い部分をほどいたり、製品を改造しないでください。故障や重大な事故につながるおそれがあります。



授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。

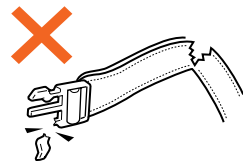
お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。また、使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。



⚠ 注意

製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が破損したときには、すぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、事故につながるおそれがあります。

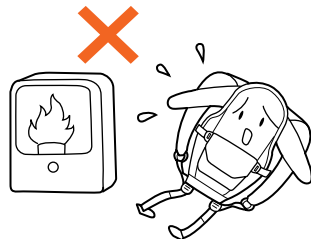


お子さまのわきの下と「セーフティベルト」の間に約4cm以上のすき間があるときは、「アジャストファスナー」を開いてください。

開かずに使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。



お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。

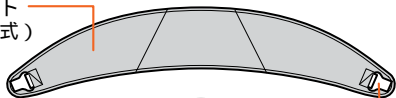
破損・故障の原因になります。



各部のなまえ

ヘッドサポート
(取りはずし式)

梱包時は、
ポケットに
収納されて
います。



セーフティ
ベルト

セーフティ
バックル

ポケット

面ファスナー (メス)

アジャストファスナー

赤ちゃんの成長にあわせて
使用します。ファスナー
を開けると本体が深く
なります。

ヘッドサポートフック
(オス側)

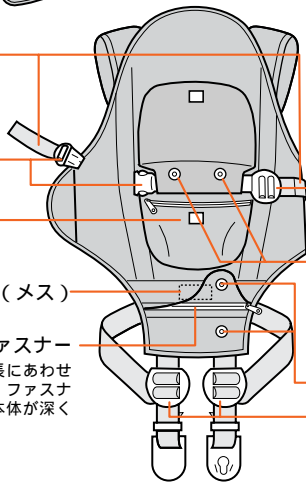
コンビラダー①

セーフティベ
ルトの長さ
を調節
します。

ヨコだっこ
サポートシート
取り付けフック

アジャストフック

コンビラダー②
ウエストベルトの長
さを調節します。



フック受け (メス側)

ヨコだっこサポートシートと
ヘッドサポートを取り付け
るときに使用します。

肩帯

サイドロック

サイドフック

コンビバックル

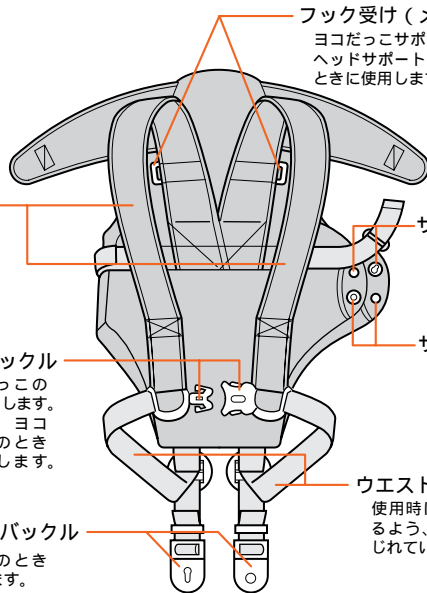
タテだっこの
とき使用
します。
おんぶ、ヨコ
だっこの
ときは
収納
します。

ウエストベルト

使用時にフィットす
るよう、ベルトはね
じれています。

ウエストバックル

おんぶのとき
使用
します。



ヨコだっこ
サポートシート

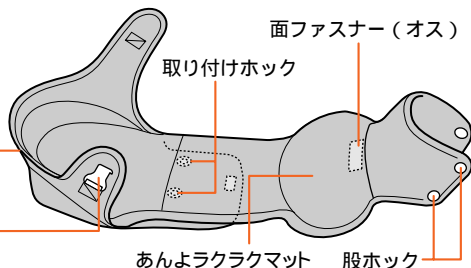
面ファスナー (オス)

取り付けフック

ヘッドガード部

ヘッドガードフック
(オス側)

あんよラクラクマット 股フック

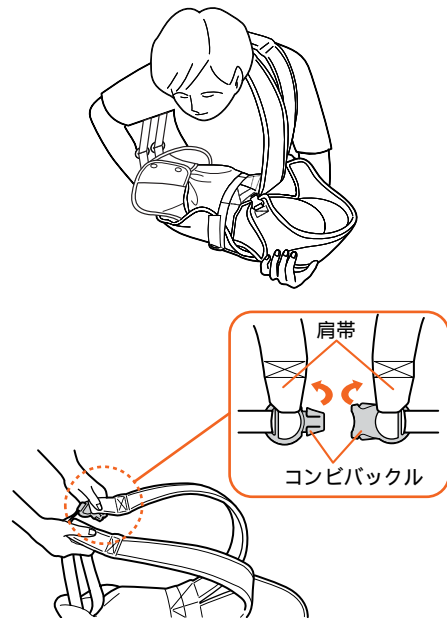


商品により、ポケットの形状が異なります。

ヨコだっこの準備

ウエストベルトの長さを調節する

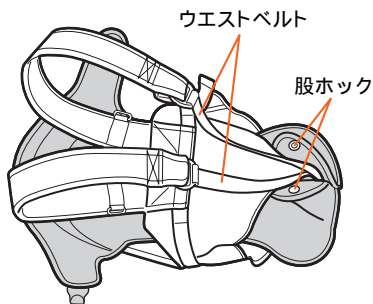
お子さまを乗せる前に、左右の肩帯を肩から脇へ斜めにかけ、使用者の身体に肩帯があうようウエストベルトの長さをコンピラダー②で調節します。このとき、コンビバックルをはずして肩帯の中に収納してからお試しください。



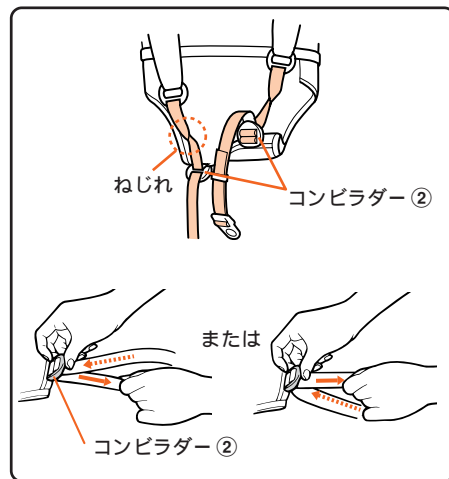
調節するには

股ホックをはずし、ウエストベルトとコンピラダー②を出します。コンピラダー②の先端を指で起こし、ウエストベルトを引くと、長さを調節できます。

ベルトは、使用者の身体にフィットするよう、あらかじめ半回転分ねじれています。



ウエストベルトを調節したあとは、余ったベルトやバックルを股部ホックの中にまとめ、ホックをとめます。



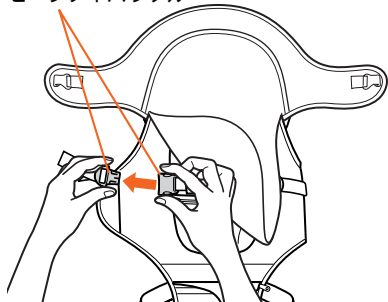
ワンポイント

お子さまの頭部を使用者の心臓側にすることをおすすめします。肩ベルトを斜めにかけた時、使用者の身体に近い方の肩帯を短めに調節すると、お子さまを水平にバランスよくだっこできます。

首のすわっていないお子さまを乗せる

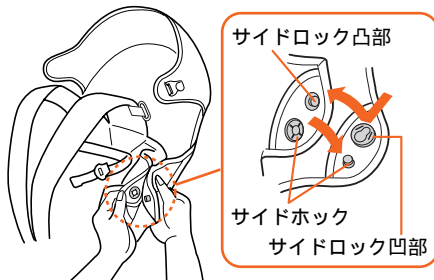
1 セーフティバックルをはずす

セーフティバックル



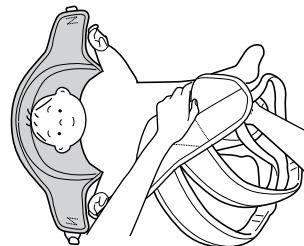
2 サイドホックとサイドロックをはずす

サイドロックは、サイドロック凸部を凹部の広い方にスライドさせてはずします。



3 お子さまを乗せる

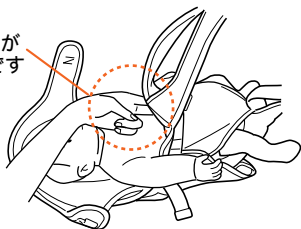
安全な場所に子守帯を広げ、お子さまを乗せます。お子さまの頭頂部がヘッドガードに圧迫されない位置に乗せてください。



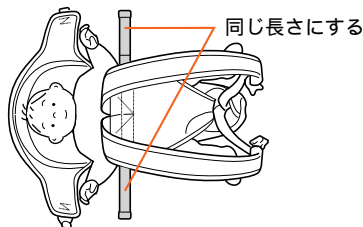
6 お子さまにフィットしていることを確かめる

お子さまと子守帯の間に、大人の指2本を入れてみて、きつかったりゆるかったりするときは、セーフティバックルとコンブラダー①で長さを調節します。

指2本が目安です



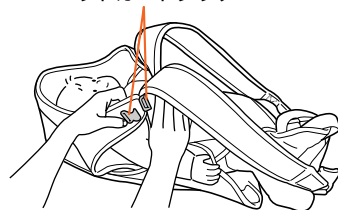
調節するときは、左右のベルトを同じくらいの長さにしてください。



7 ヘッドガードをセットする

左右のヘッドガードフックを、肩帯のフック受けにかけてとめます。

ヘッドガードフック



ワンポイント



セーフティベルトの長さは、お子さまの成長に合わせて、ときどき調節してください。

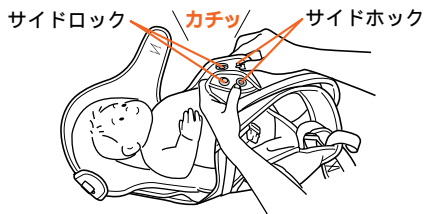
ポイント



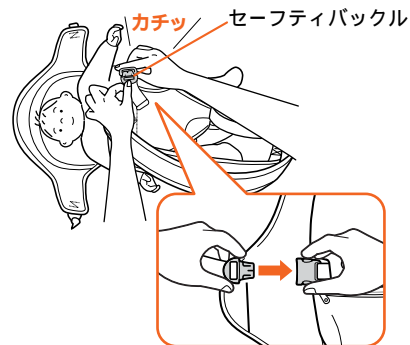
お子さまの頭頂部にヘッドガードがあたる
ときは、お子さまをできるだけ奥深く入れ
てください。

4 サイドロックとサイドホックをとめる

サイドロックは、サイドロック凸部
を、広い凹部に差し込み、上方にスラ
イドさせてとめます。(手順2参照)

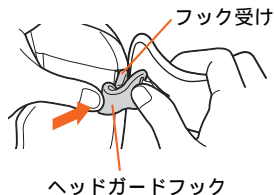


5 セーフティバックルをとめる 『カチッ』と音がするまで差し込みま す。



ヘッドガードフックのとめかた

ヘッドガードフックをおこし、図のよ
うにフック受けに重ねます。そのままヘ
ッドガードフックの先端を押し、フックを
かけます。



「サイドロック」「サイドホック」「セーフ
ティバックル」を確実にとめてください。
とめないで使用すると、お子さまがずれ落
ちるおそれがあります。

首のすわっていないお子さまをヨコだっこする

アドバイス

お子さまが大変小さく、ヨコだっこしたときにお腹まわりに空間があきすぎて気になるような場合には、アジャストファスナーを閉じてヨコだっこサポートシートを取り付け、ご使用ください。(基本的にはヨコだっこ時は、アジャストファスナーを開いて使用します)

- 1** お子さまを乗せだっこする
左右の肩帯を合わせ、肩から脇へ斜めにかけてみます。



ワンポイント



お子さまの頭部を使用者の心臓側にすることをおすすめします。
肩帯を斜めにかけた時、使用者の身体に近い方の肩帯を短めに調節すると、お子さまを水平にバランスよくだっこできます。

- 2** お子さまをしっかり支える
お子さまの後頭部とお尻を、手で支えます。



ワンポイント



ひとりでヨコだっこするときは、鏡などに姿を映して、お子さまの頭部が下がっていないかどうか、確認することをおすすめします。

ワンポイント



ヨコだっこしたときに、お子さまの頭を支えている手の角度が90°以上開くときは、ベルトが長すぎます。ウエストベルトのコンビラダー②で長さを調節してください。

90°以内



警告

ヨコだっこするときは、お子さまの頭部を足よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

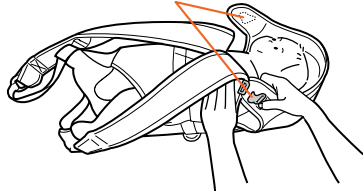
ヨコだっこのはずしかた

1 お子さまを寝かせ、肩帯をはずす

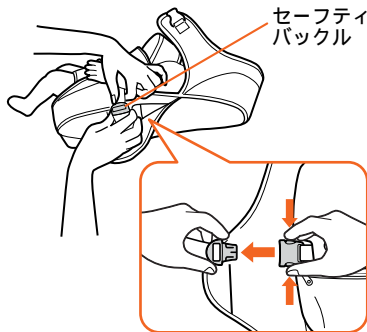
お子さまを両手で支えながら、安全な場所に寝かせ、使用者から肩帯をはずします。

**2** 左右のヘッドガードフックをはずす

ヘッドガードフック

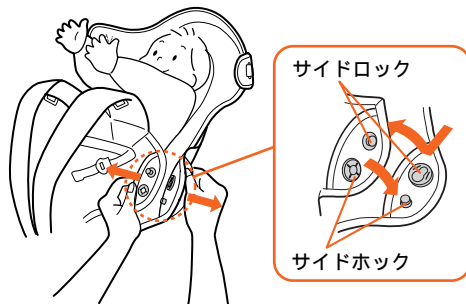
**3** セーフティバックルをはずす

セーフティバックル

**4** サイドロック、サイドホックをはずし、お子さまをおろす

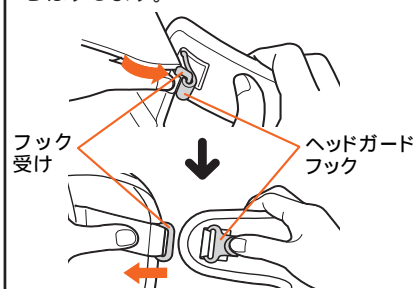
サイドロック

サイドホック



ヘッドガードフックのはずしかた

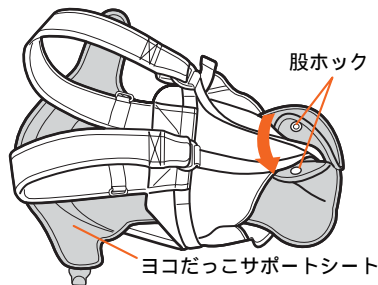
ヘッドガードフックを外側に倒します。ヘッドガードフックの先端を親指で押さえ、フック受けを横にスライドさせながらはずします。



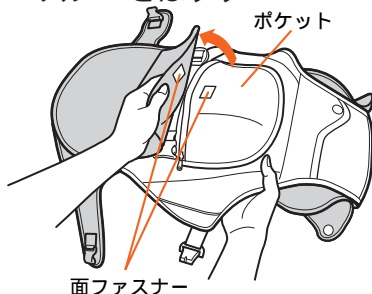
ヨコだっこサポートシートのはずしかた

工場出荷時にはヨコだっこサポートシートがセットされていますが、洗濯するときやタテだっこにするときには、次のようにはずしてください。

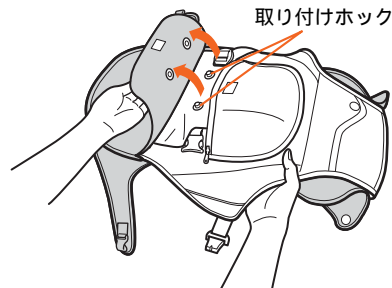
1 股部の2つのホックをはずす



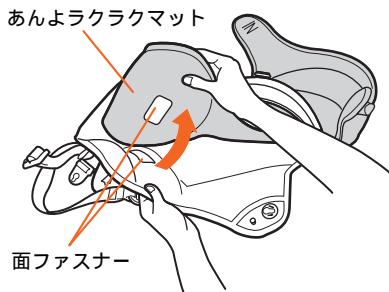
2 ポケットについている面ファスナーをはずす



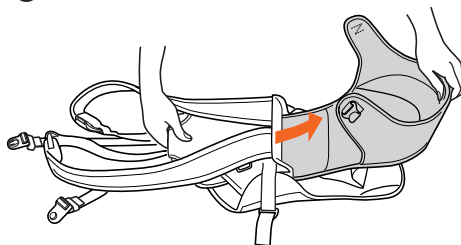
3 取り付けホックをはずす



4 あんよラクラクマット部の面ファスナーをはずす



5 シートの上部を持って引き抜く



「ヨコだっこサポートシート」を取り付けるときは、取り付けホック、股ホックを確実にとめてください。使用中に「ヨコだっこサポートシート」がはずれると、お子さまが落下するおそれがあります。

ヨコだっこサポートシートを取り付けるときは

はずしかたの手順を反対に行ってください。(手順5 手順1)

最後に股部ホックをとめるときは、ウエストベルト部をひっぱりながら、余っているベルトやバックルをまとめてからとめるようにしてください。

タテだっこの準備

ヨコだっこサポートシートは、必ずしてご使用ください。

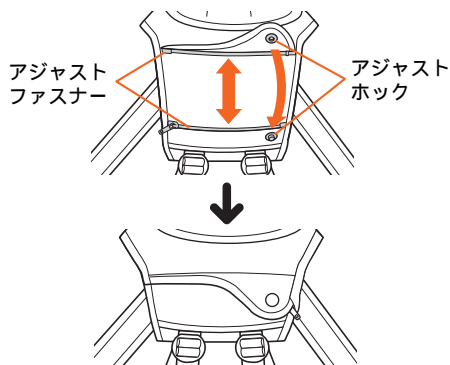
つづく

アドバイス

タテだっこの方法には、①子守帯にお子さまを乗せてからだっこする(P13) ②子守帯に取り付けてからお子さまを乗せる(P15)の2つがあります。どちらか使用者の状況にあった方法をお選びください。

アジャストファスナーで深さを調節する

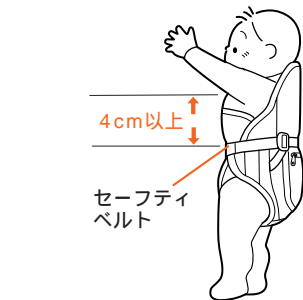
アジャストファスナーを閉じて使う
お子さまがまだ小さく、わきの下とセーフティベルトの間があまりない場合には、アジャストファスナーを閉じて、アジャストホックをとめてご使用ください。(6ヵ月ころまでが目安です)



ヨコだっこのときはアジャストファスナーを開いてご使用ください。



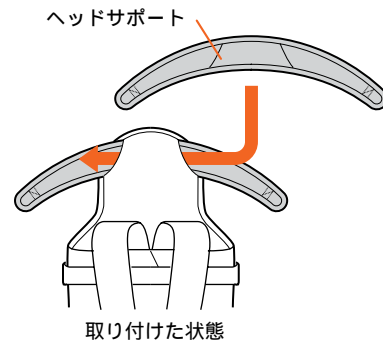
警告
お子さまのわきの下と「セーフティベルト」の間に4cm以上のすき間があるときに、「アジャストファスナー」を開かずに使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



アジャストファスナーを開いて使う
お子さまのわきの下とセーフティベルトとの間が約4cm以上になった場合には、アジャストホックをはずし、アジャストファスナーを開いてください。

ヘッドサポートを使う

お子さまの首がすわったら、ヨコだっこサポートシートをはずし、ヘッドサポートをご使用ください。
(ヘッドサポートの対象月齢は、首がすわってから～7ヵ月ころまでです)



ヘッドサポートは洗濯することもできます。

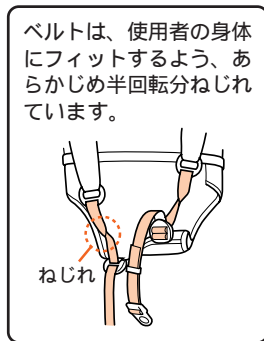
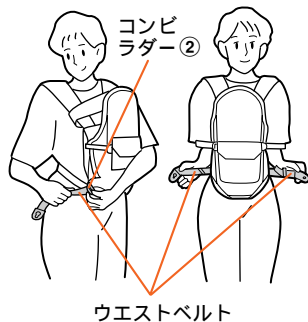


注意
お子さまのものが圧迫されている場合、または、製品に埋もれてわきが圧迫されている場合はうつ血するおそれがありますので、「お尻の下にタオルを敷く」などしてお子さまの高さを調節してください。

タテだっこの準備

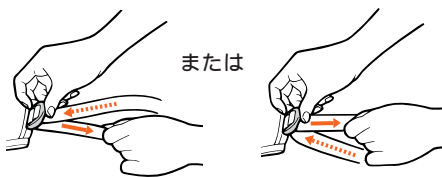
ウエストベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、使用者の身体に肩帯があうよう、ウエストベルトの長さをコンピラダーで調節します。



調節するには

コンピラダーの先端を指で起こし、ウエストベルトを引くと、長さを調節できます。



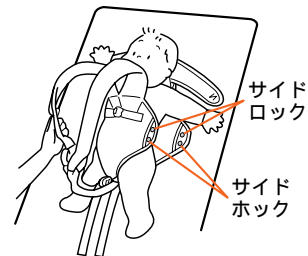
「ウエストベルト」の長さは、きつめに設定してください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



ワンポイント ウエストベルトは、左右の長さが同じくらいになるよう調節してください。

子守帯にお子さまを

- 1 お子さまを乗せ、サイドロックとサイドホックをとめる
安全な場所でお子さまを乗せてください。



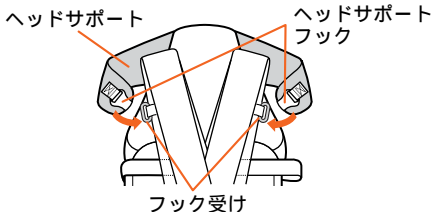
「コンビバックル」「サイドロック」「サイドホック」「セーフティバックル」を確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまがずれ落ちるおそれがあります。
「セーフティベルト」や「ウエストベルト」の長さは、きつめに設定してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。
お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えしていただくと、より安全です)
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

乗せてからだっこする

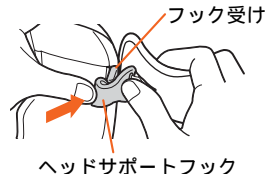
- 2** セーフティバックルをとめる
『カチッ』と音がするまで差し込みます。



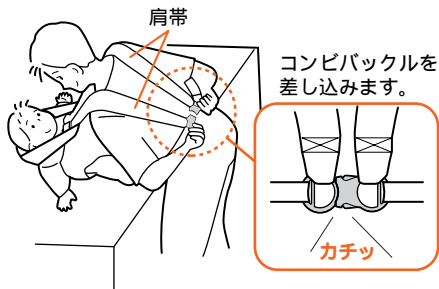
- 3** ヘッドサポートをセットする
左右のヘッドサポートフックを、肩帯のフック受けにかけてとめます。
(ヘッドサポートの対象月齢は首がすわってから～7ヵ月ころまでです)



ヘッドサポートフックのとめかた
ヘッドサポートフックをおこし、図のようにフック受けに重ねます。そのままヘッドサポートフックの先端を押しつけてフックをかけます。

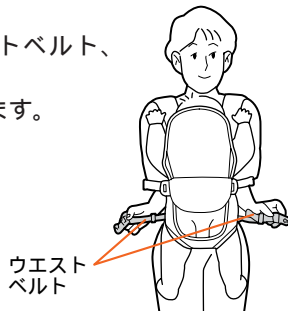


- 4** コンビバックルをとめる
前かがみになり、肩帯を肩にかけ、背中でコンビバックルを『カチッ』と音がするまで差し込みます。



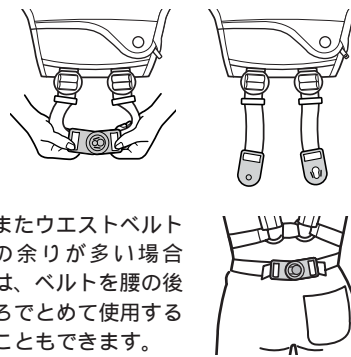
ワンポイント
ベビーベッドなどの台にお子さまをのせて、前かがみになることをおすすめします。

- 5** 使用者の身体にフィットさせる
ウエストベルトのあまりを同じ長さに調節し、
肩帯やウエストベルト、
コンビラダー
の表裏を整えます。



ワンポイント
サイドロック、サイドホック、セーフティバックルのとめかたと、セーフティベルトの長さ調節について詳しくは、「首のすわっていないお子さまを乗せる」(7～8ページ)をご覧ください。

このときウエストバックルは使用しません。
図のようにバックルをとめるか、またはそのままウエストベルトの余りを下に垂らしてご使用ください。



またウエストベルトの余りが多い場合は、ベルトを腰の後ろでとめて使用することもできます。

子守帯を取り付けてからお子さまを乗せる



「コンビバックル」「サイドロック」「サイドホック」「セーフティバックル」を確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまがずれ落ちるおそれがあります。

「セーフティベルト」や「ウエストベルト」の長さは、きつめに設定してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えしていただくと、より安全です) 不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

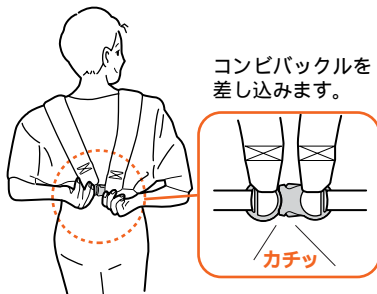
ワンポイント



サイドロック、サイドホック、セーフティバックルのとめかたと、セーフティベルトの長さ調節について詳しくは、「首のすわっていないお子さまを乗せる」手順4、5、6(7~8ページ)をご覧ください。

1 子守帯を取り付ける

肩帯を肩にかけ、背中でコンビバックルを『カチッ』と音がするまで差し込みます。



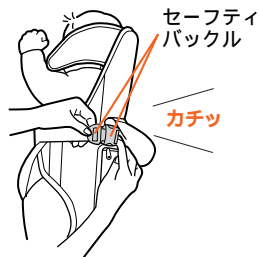
2 お子さまを子守帯に乗せる

使用者がすわった状態で、お子さまをサイドから乗せます。



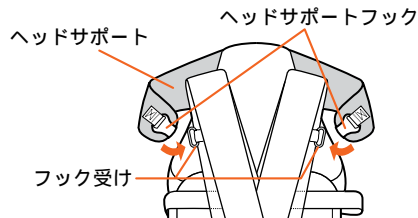
4 セーフティバックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込みます。



5 ヘッドサポートをセットする

左右のヘッドサポートフックを、肩帯のフック受けにかけてとめます。(ヘッドサポートの対象月齢は首がすわってから~7カ月ころまでです)

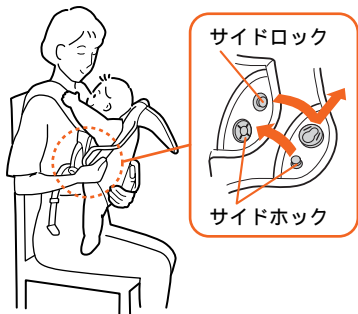


ワンポイント



手順について詳しくは、「ヘッドサポートフックのとめかた」(14ページ)をご覧ください。

3 サイドロック、サイドホックをとめる

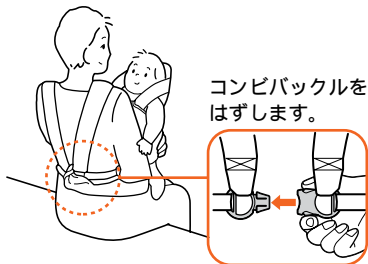


6 使用者の身体にフィットさせる
ウエストベルトのあまりを同じ長さに
調節し、肩帯やウエストベルト、コン
ピラダーの表裏を整えます。

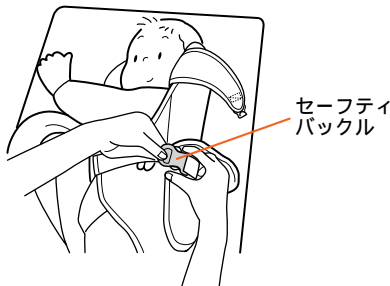


タテだっこのはずしかた

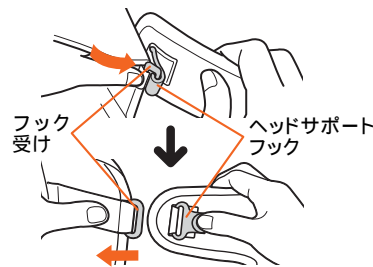
1 コンビバックルをはずす
安全な場所にすわり、お子さまを支
えながら、コンビバックルをはずし
ます。



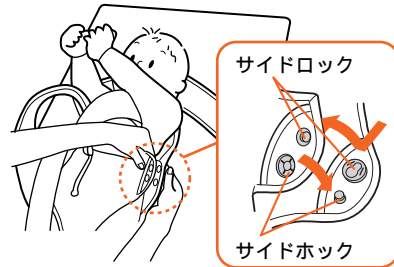
3 セーフティバックルをはずす



2 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ヘッドサポートをはずす
ヘッドサポートフックを外側に倒し、
ヘッドサポートフックの先端を親指
で押さえ、フック受けをはずします。



4 サイドロック、サイドホック
をはずして、お子さまをおろす



おんぶの準備

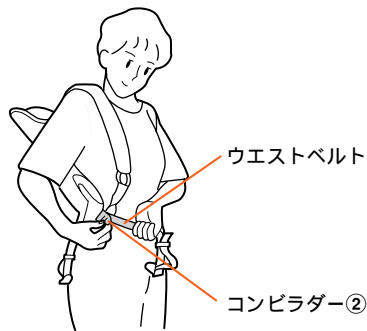
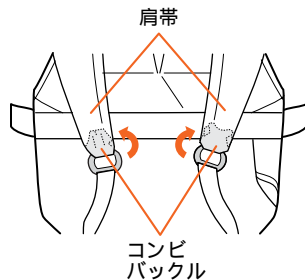
アジャストファスナーやヘッドサポートの使いかたは、「タテだっこの準備」(12ページ)と同じです。

アドバイス

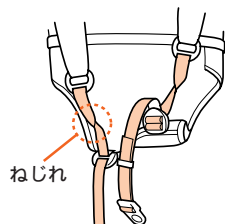
おんぶしているときは、使用者からお子さまが見えないので特に低月齢のお子さまの場合は、約30分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

ウエストベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、コンビバックルを肩帯の中に収納し、コンビラダー②でウエストベルトの長さを調節して、使用者のウエストに合わせます。



ベルトは、使用者の身体にフィットするように、あらかじめ半回転分ねじられています。



調節するには

コンビラダー②の先端を指で起こし、ウエストベルトを引くと、長さを調節できます。



警告

「ウエストベルト」の長さは、コンビラダー②の表面が腰の高い位置に当たるよう、きつめに設定してください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

ワンポイント



ウエストベルトは、左右の長さが同じくらいになるよう調節してください。



警告

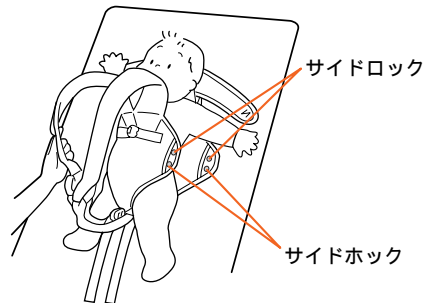
「コンビバックル」「サイドロック」「サイドホック」「セーフティバックル」を確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまがずれ落ちるおそれがあります。

「セーフティベルト」や「ウエストベルト」の長さは、きつめに設定してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

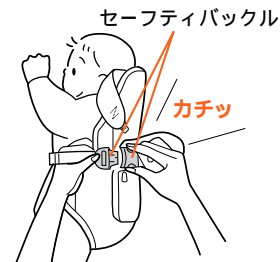
お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えしていただくと、より安全です) 不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

ワンポイント サイドロック、サイドホック、セーフティバックルのとめかたと、セーフティベルトの長さ調節について詳しくは、「首のすわっていないお子さまを乗せる」の手順4、5、6(7~8ページ)をご覧ください。

1 お子さまを乗せ、サイドロック、サイドホックをとめる

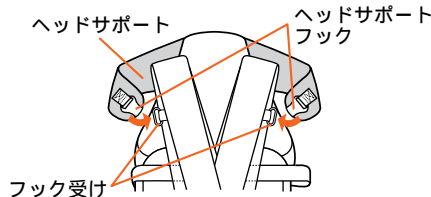


2 セーフティバックルをとめる『カチッ』と音がするまで差し込みます。



3 ヘッドサポートをセットする 左右のヘッドサポートフックを、肩帯のフック受けにかけてとめます。 (ヘッドサポートの対象月齢は首がすわってから~7ヵ月ころまでです)

ワンポイント 手順について詳しくは、「ヘッドサポートフックのとめかた」(14ページ)をご覧ください。



おんぶする

4 背負う

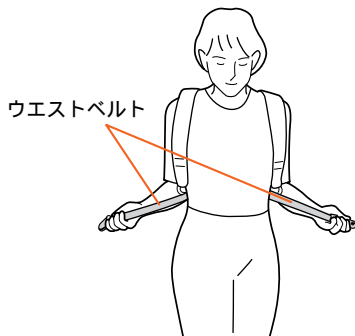
他の人に介添えしていただくと、より安全です。



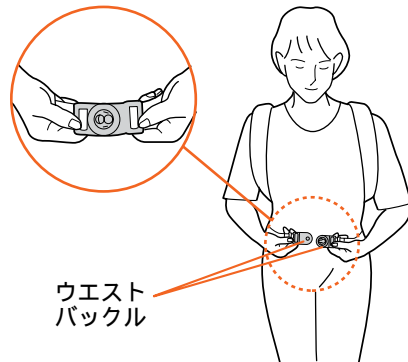
使用者が一人で背負うときには、できるだけソファなどの上にお子さまを乗せ、肩帯の上部を持って行ってください。



5 使用者の身体にフィットさせる ウエストベルトのあまりを同じ長さに 調節し、肩帯やウエストベルト、コン ピラダー②の表裏を整えます。



6 ウエストバックルをとめる

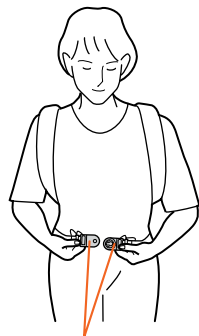


注意

お子さまのももが圧迫されている場合、または、製品に埋もれてわきが圧迫されている場合はうっ血するおそれがありますので、「お尻の下にタオルを敷く」などしてお子さまの高さを調節してください。

おんぶのはずしかた

1 ウエストバックルをはずす

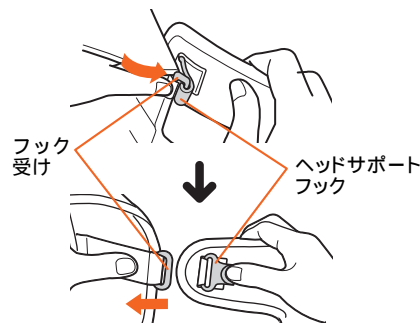


ウエストバックル

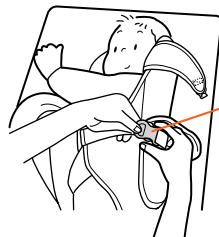
2 背中からおろす



3 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ヘッドサポートをはずす
ヘッドサポートフックを外側に倒し、ヘッドサポートフックの先端を親指で押さえ、フック受けをはずします。

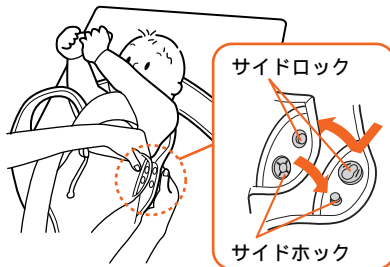


4 セーフティバックルをはずす



セーフティバックル

5 サイドロック、サイドホックをはずし、お子さまをおろす



サイドロック

サイドホック

お手入れ

日常のお手入れ

洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。

軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。



注意

お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

洗濯についてのご注意

色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。天然植物性の「コンピおむつ・肌着洗い」粉末洗剤、液体

洗剤の使用をおすすめします。洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。洗濯表示、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯ラベルをご参照ください。